

環境活動レポート

2015年度



コージェネ発電設備

1 組織の概要	P.1
2 対象範囲	P.1
3 環境方針	P.2
4 環境管理実施体制	P.2
5 環境目標	P.3
6 環境活動計画	P.3
7 環境目標の実績	P.4
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組	P.7
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.8
10 代表者による全体評価と見直しの結果	P.8
11 環境活動報告（2015年度）	P.9

《1》組織の概要

事業所名及び代表者名 太陽油脂株式会社
代表取締役社長 堀内 泰治

所在地 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 2-7

環境管理責任者及び担当者連絡先 環境管理責任者：製造二部長 原 充宏
TEL:045-441-4962 FAX:045-441-9671



事業の概要

事業内容 加工油脂部門：ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
石けん・化粧品部門：家庭用・業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

事業規模 生産量：63,724 t／年
従業員数：245 人（2016/1/31 現在）
床面積：14,638.46㎡

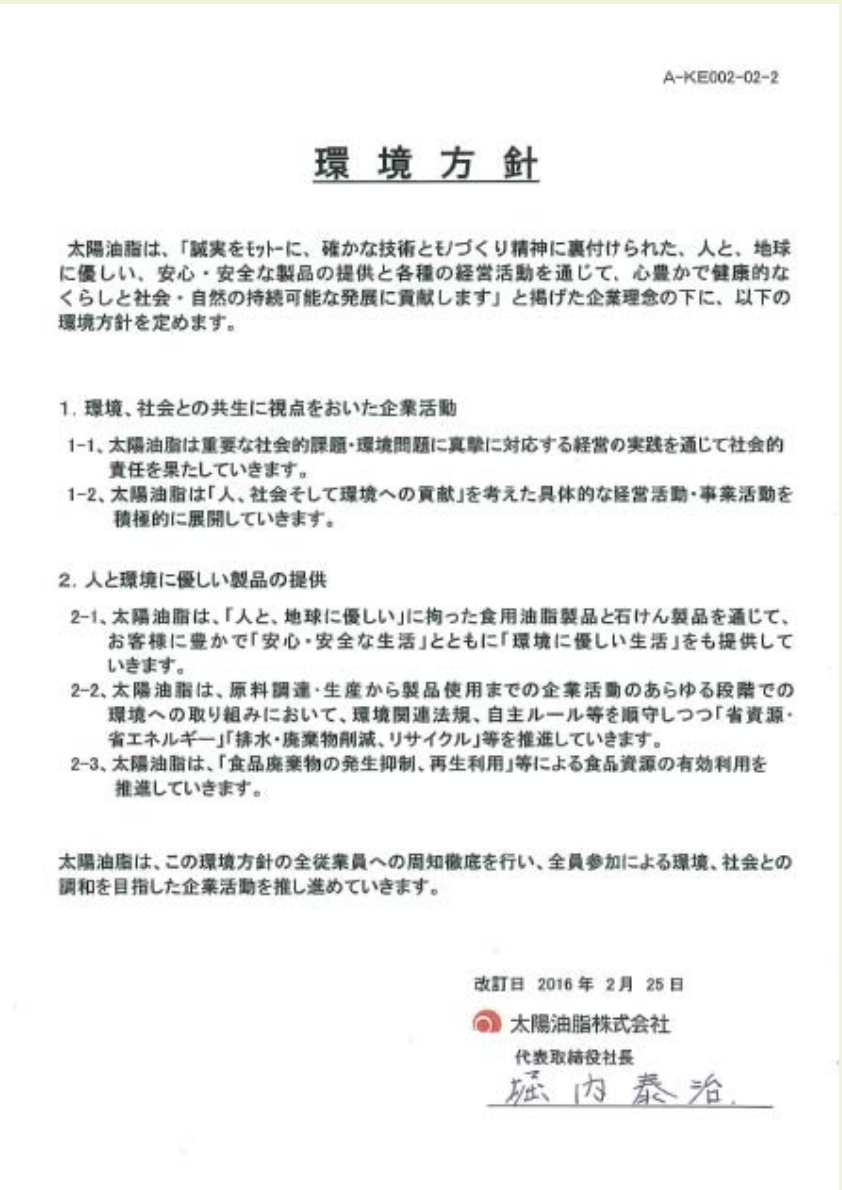
《2》対象の範囲

認証・登録範囲 加工油脂部門：ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
石けん・化粧品部門：家庭用・業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

レポートの対象期間及び発行日 対象期間：2015年04月01日～2016年03月31日
発行日：2016年06月17日



《3》環境方針



《4》環境管理実施体制



《5》環境目標

2014年度の実績を踏まえ、2015年4月に見直した環境目標及び中期環境目標は以下の通りです。
(尚、2014年度～2016年度の二酸化炭素排出係数（東電）は0.525（kg -CO2/ k w h）を使用）

(年度:4月～3月 以下同じ)

製品生産量当たり	基準年度実績 2013 年度	基準年度比 2014 年度目標	基準年度比 2015 年度目標	基準年度比 2016 年度目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/t)	252.24	98.75%	94.80%	93.85%
廃棄物排出量 (t/t)	0.0630	99.52%	96.86%	95.89%
食品廃棄物の発生抑制 (t/t)	0.0233	98.56%	90.29%	89.39%
食品リサイクル リサイクル率（%）	98.36%	98.00%	98.00%	98.00%
排水量 (m3/t)	4.01	99.51%	95.62%	94.66%
化学物質使用量 (kg/t)	0.0553	100.00%	100.00%	100.00%
グリーン購入 (作業着、事務用品、文具の グリーン購入実施率)	48.50%	55.00%	50.00%	50.00%
環境配慮設計 (石けん・化粧品事業)	41 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年
地域とのコミュニケーション (石鹸学習会など)	106 回 / 年	102 回 / 年	100 回 / 年	100 回 / 年

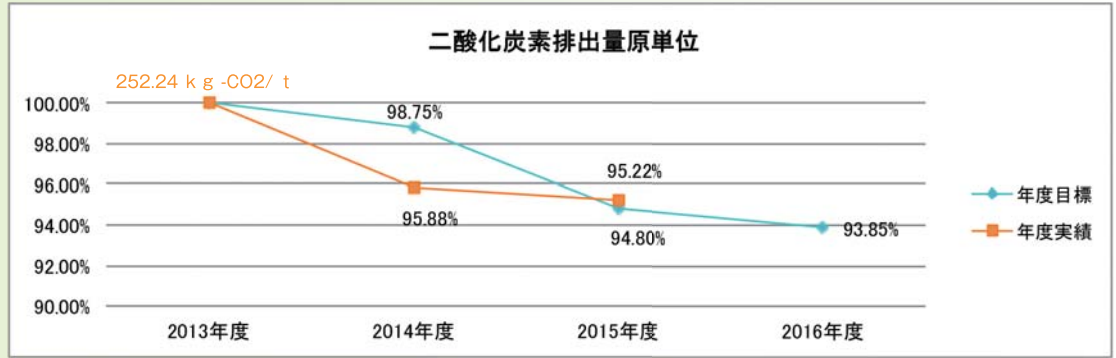
《6》環境活動計画

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減 <東電：排出係数> 0.525kg-CO2/kWh 2013年度比 (94.80%)	電気使用量 原単位削減 2013年度比：97.22%	① 事務所用蛍光灯及び屋外灯の更新時にLED照明を積極的に導入。 ② 6月～10月 クールビズの実施。 ③ 空調の温度管理を徹底する。 夏（6月～9月）27～28℃設定 冬（12月～3月）20～22℃設定 ④ 工程事故削減など無駄のない製造実施。
	都市ガス使用量 原単位削減 2014年度比：99%	① 生産量に合わせた効率の良い製品積載をする。 ② 生産量にあわせた効率の良いボイラー運転をする。 ③ コージェネ設備を導入（2015年度下期稼働計画）する。 ④ 迅速な蒸気漏れ補修など熱エネルギーロスを削減する。
廃棄物総排出量削減 2013年度比 (96.86%)	一般廃棄物排出量 原単位削減 2013年度比 100%以下	① 紙の使用量削減（縮小コピーや両面コピー実施、FAXのメール送信化） ② マイタオルの使用を推進する。（ペーパータオル使用量削減） ③ 一般廃棄物の分別徹底で単純焼却ごみを削減する。
	廃白土油脂分 含有量削減 2014年度比：99%	① 小集団活動取組みにて廃白土油分を削減する。 ② 小集団活動取組みにて不適合品を削減する。（廃油、廃脂肪酸量削減）
食品廃棄物発生抑制 2013年度比 (90.29%)	食品廃棄物 発生量削減 2013年度比（98.80%）	① 賞味期限切れ製品を削減する。（無駄のない生産計画） ② 小集団活動取組みにて不適合品を削減する。（廃油、廃脂肪酸量削減）
	食品リサイクル率 (98%以上)	① 再資源化率を監視し、食品リサイクル率98%以上を継続維持する。
総排水量削減 2013年度比 (95.62%)	水使用量 原単位削減 2013年度比（94.01%）	① 水道栓の交換（ワンタッチ式へ変更） ② 冷却水の有効利用（再利用） ③ 手洗い設備の自動化（バッテリー式） ④ 洗浄方法の見直しや洗浄水の適正使用により水使用量を削減する。
化学物質使用量削減	化学物質使用量原単位 2013年度比100%以下	① 使用量適正管理により2013年度使用量原単位比：100%以下にする。
グリーン購入推進	グリーン購入実施率推進 (50%)	① グリーン購入対象品の掲載されたカタログを部署に配布し購入を推奨する。 （職服、事務用品、文具を対象）
環境配慮設計	環境配慮設計（40品/年）	石けん化粧品事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をベースにした商品開発 ② RSPOロゴマークを表示したシャンプー、リンス等の販売
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション (100回/年)	① 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施（本社工場～入江橋周辺） ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続実施による 東日本大震災被災地区の子供たちへの支援

《7》環境目標の実績

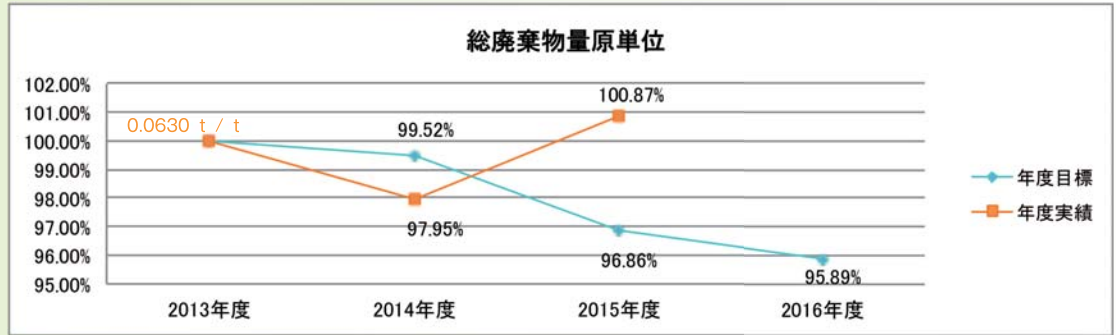
① 二酸化炭素排出量原単位：Kg-CO2 / t

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100.00%	98.75%	94.80%	93.85%	×
年度実績	100.00%	95.88%	95.22%		



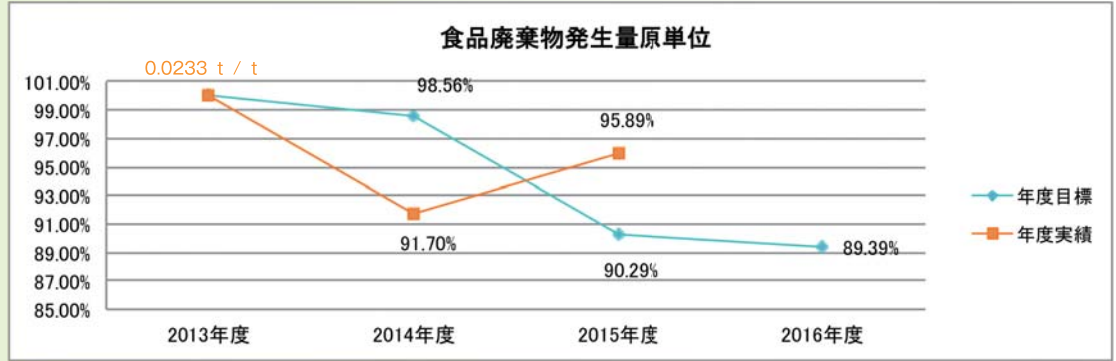
② 総廃棄物量原単位：t / t

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100.00%	99.52%	96.86%	95.89%	×
年度実績	100.00%	97.95%	100.87%		



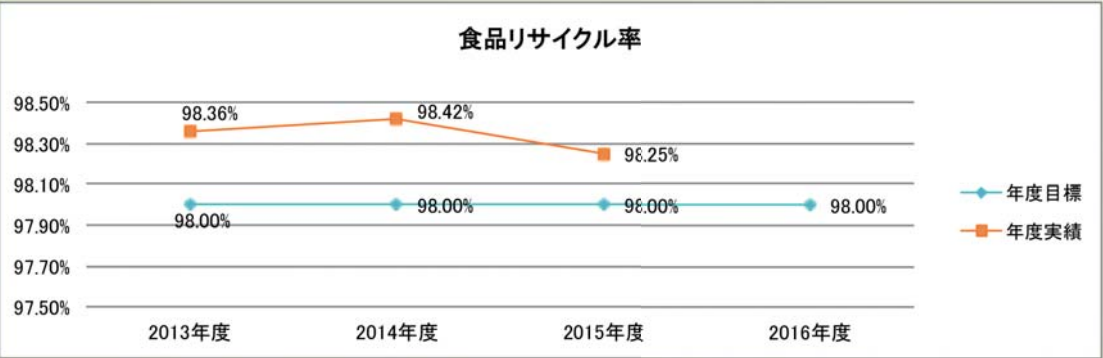
③ 食品廃棄物発生量原単位：t / t

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100.00%	98.56%	90.29%	89.39%	×
年度実績	100.00%	91.70%	95.89%		



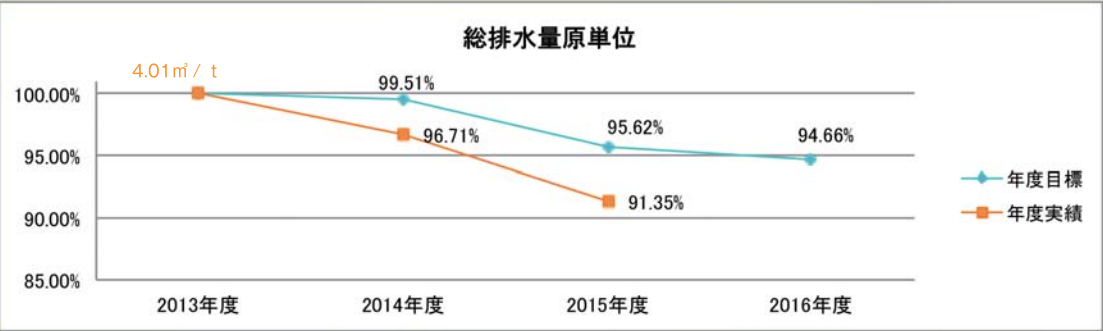
④ 食品リサイクル率（％）

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	98.00%	98.00%	98.00%	98.00%	○
年度実績	98.00%	98.42%	98.25%		



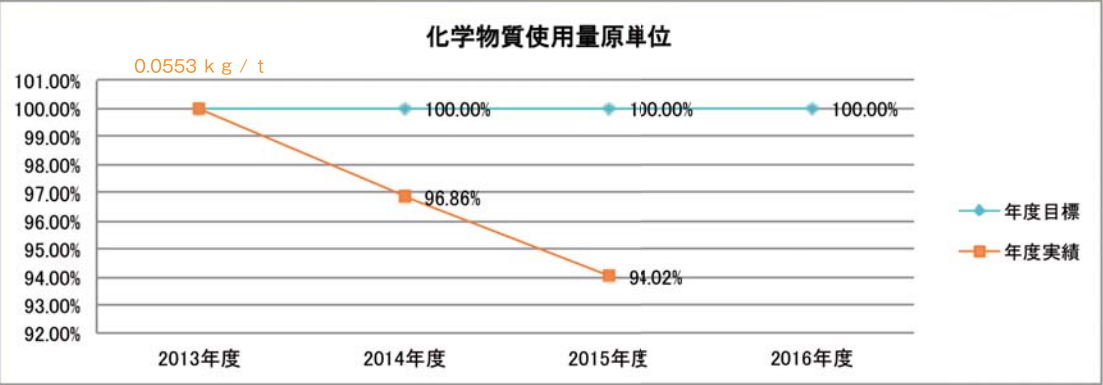
⑤ 総排水量原単位：m³／t

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100.00%	99.51%	95.62%	94.66%	○
年度実績	100.00%	96.71%	91.35%		



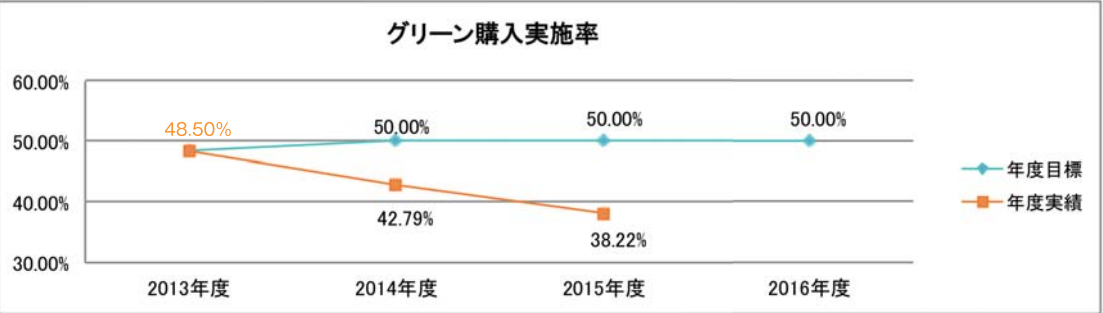
⑥ 化学物質使用量原単位：k g／t

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	○
年度実績	100.00%	96.86%	94.02%		



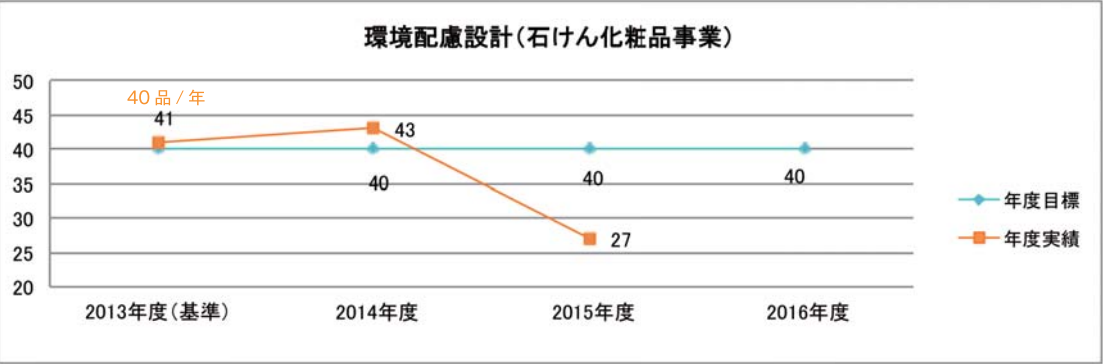
⑦ グリーン購入実施率（％）（作業着、事務用品、文具のグリーン購入実施率）

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	48.50%	50.00%	50.00%	50.00%	×
年度実績	48.50%	42.79%	38.22%		



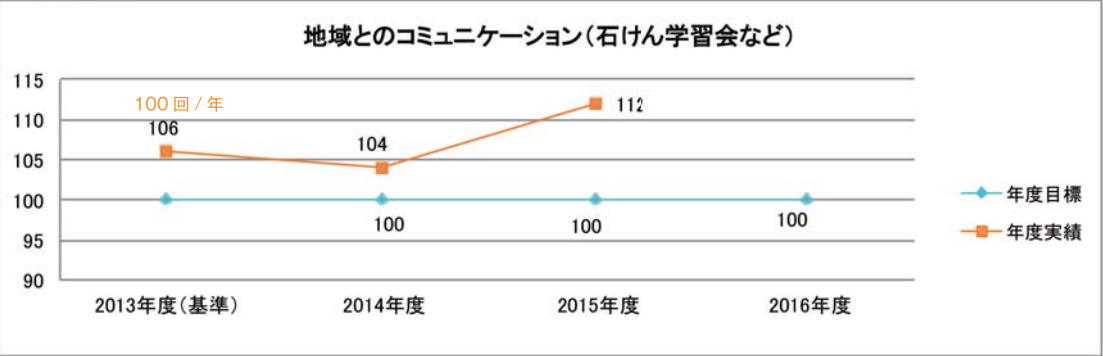
⑧ 環境配慮設計（石けん化粧品事業）：品/年

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	40 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年	×
年度実績	41 品 / 年	43 品 / 年	27 品 / 年		



⑨ 地域とのコミュニケーション（石けん学習会など）：回/年

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	評価
年度目標	100 回 / 年	100 回 / 年	100 回 / 年	100 回 / 年	○
年度実績	106 回 / 年	104 回 / 年	112 回 / 年		



《8》環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

環境活動計画		取組結果とその評価・＜次年度の取組＞
二酸化炭素排出量削減 ＜東電：排出係数＞ 0.525kg-CO2/kWh 目標 2013年度比：94.80%	電気使用量 原単位削減 2013年度比：97.22%	目標（2013年度比：97.22%）⇒結果（99.88%）（評価：×） ＜次年度取組＞ ① 消灯やクールビズなど無駄な電気使用削減の取組を継続実施する。 ② 小集団活動取組みにて不適合発生を削減する事で無駄なエネルギー使用を削減する。
	都市ガス使用量 原単位削減 2014年度比：99%	目標（2014年度比：99.0%）⇒結果（104.07%）（評価：×） ＜次年度取組＞ ① 蒸気漏れ補修など熱エネルギーロス削減の取組を継続実施する。 ② 小集団活動取組みにて不適合発生を削減する事で無駄なエネルギー使用を削減する。
廃棄物排出量削減 目標：2013年度比（96.86%） 結果（100.87%）	一般廃棄物排出量 原単位削減 2013年度原単位比：100%以下	目標（2013年度比：100%）⇒結果（128.75%）（評価：×） ＜次年度取組＞ ① ごみの分別徹底と廃棄されているごみのリサイクル化を推進する。 ② コンビニ弁当容器などの持ち帰り廃棄の推奨
	廃白土油脂分 含有量削減 2014年度比：99%	目標（2014年度比：99%）⇒結果（98.40%）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 設備改造により更なる削減を実施する。
食品廃棄物発生抑制 目標：2013年度比（90.29%） 結果（95.89%）	食品廃棄物発生量削減 2013年度比：98.80%	目標（2013年度比：98.80%）⇒結果（97.24%）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 小集団活動取組みを継続実施し更に食品廃棄物を削減する。
	食品リサイクル率 98.00%以上	目標（98.00%）⇒結果（98.25%）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 再資源化率の監視活動を継続実施する。
総排水量削減 目標：2013年度比（95.62%） 結果（91.35%）	水使用量原単位削減 2013年度比：94.01%	目標（2013年度比：94.01%）⇒結果（93.40%）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 設備洗浄方法の見直しや洗浄水の適正使用など削減活動を継続実施する。
化学物質使用量削減	化学物質使用量原単位 2013年度比：100%以下	目標（2013年度比：100%）⇒結果（94.02%）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 使用量適正管理を継続実施する。
グリーン購入推進	グリーン購入 実施率推進（50%）	目標（購入実施率：50%）⇒結果（38.22%）（評価：×） ＜次年度取組＞ ① グリーン購入対象品の掲載されたカタログを全部署に配布し購入を推奨する。（職服、事務用品、文具を対象）
環境配慮設計	環境配慮設計 （40品/年） 石けん化粧品事業	目標（40品/年）⇒結果（27品/年）（評価：×） ＜次年度取組＞ ①自社基準に基づいた石鹸をベースにした商品開発を継続実施する。
地域とのコミュニケーション	地域との コミュニケーション （100回/年）	目標（100回/年）⇒結果（112回/年）（評価：○） ＜次年度取組＞ ① 工場見学会、手作り石けん教室を継続実施する。 ② 本社工場周辺の清掃活動を継続実施する。

1）主要な取り組みの総括評価

エコアクション21の活動も認証取得後7年となり、環境活動に繋がるコストダウン活動も実施され定着感を感じています。また2015年度は10月よりコージェネ発電設備（700 k w）も稼動を開始しました。

- ＜取り組みの評価＞
- ① 二酸化炭素排出量原単位削減の取組みは基準年度比目標：94.80%に対し95.22%とやや未達成となりました。
 - ② 廃棄物総排出量原単位削減の取組みは基準年度比目標：96.86%に対し100.87%と未達成になりました。
また、食品廃棄物排出量原単位削減の取組みも基準年度比目標：90.29%に対し95.89%と未達成になりました。
 - ③ 食品リサイクル率98%以上の目標や化学物質使用量原単位削減、地域とのコミュニケーションなどは目標達成しました。
 - ④ 地域貢献活動として工場周辺の清掃活動やドネーションキャンペーンによる東日本大震災被災地の子供たちへの支援も実施いたしました。
しかしながら、グリーン購入実施率の目標は基準年度を下まわり目標未達成となってしまいました。次年度はグリーン購入品の掲載されたカタログを配布するなど少しでも実施率を上げていける様に取り組んで行きたいと思います。

全体の総括評価：主要項目での未達成が多くなってしまいました。次年度はエネルギーロスや廃棄物量増加に繋がる不適合品発生量の削減を小集団活動の取組みにて推進していきたいと思います。

《9》環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1）適用法令等の順守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果	遵守状況
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者（同代理者）選任・解任届出書」、「大気関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」、「水質関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」	遵守
大気汚染防止法	ボイラー、ガスタービン、悪臭	「ばい煙発生施設（使用、変更）届出書」排煙（Nox の許容限度）の規制基準	遵守
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		「指定事業所設置許可申請書」、「指定事業所に係る変更許可申請書」年2回Nox測定、定期報告 異常時の処置と対策	遵守
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置（使用、変更）届出書」、「特定施設使用等開始報告書」排水規制基準、水質測定、定期報告	遵守
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		公共用水域に排出される排水の規制基準 異常時の処置と対応	遵守
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外	遵守
振動規制法		基準遵守、工業専用地域の為対象外	遵守
工場土地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保	遵守
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」「指定可燃物貯蔵・取扱開始届出書」	遵守
	指定可燃物（タンク） 少量危険物（薬品庫）	年2回の消防用設備定期点検。 「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、防災訓練強化	
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年1回の定期検査、年2回の清掃	遵守
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」	遵守
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設（設置、変更）届出書」	遵守
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」	遵守
PCB 廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	コンデンサー	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書（保管事業者用）」密閉（sus 製）容器に保管、年1回報告	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み	遵守
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（規則）	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」	遵守
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出、規制基準値内、危害予防規定提出。 危害予防規定届出、冷凍保安責任者を選任届出	遵守
改正フロン排出抑制法	全社	簡易点検（1回/3ヶ月以上）・有資格者による定期点検（7.5 k w以上）	遵守
省エネ法 （エネルギーの使用の合理化に関する法律）	全社	CO2 換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告（省エネ法定期報告で代用）	遵守
温対法 （地球温暖化対策の推進に関する法律）	全社	「エネルギー管理統括者 / エネルギー管理企画推進者選任届出書」、「エネルギー管理者選任届出書」 「定期報告書」、「中長期計画書」（1%以上 / 年平均のエネルギー消費原単位低減努力）	遵守
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」（（財）日本容器包装リサイクル協会）	遵守
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告	遵守
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断（特殊検診含む）、有機溶剤中毒予防規則の遵守	遵守

2）違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去、3年間ありませんでした。

《10》代表者による全体評価と見直しの結果

- 2015年度、目標未達が多い。
- ① 廃棄物削減目標の未達成原因が工程事故・不適合の発生であるならば発生させない様、管理指標を作成し削減していくこと。
 - ② 製造の取組みは工程をエネルギーロスの視点で見直すこと。
 - ③ グリーン購入の取組みについては石けん化粧品開発部を見習い実施すること。コストアップになるが、他の取組みのコストダウンでカバーしながら進めていくこと。
 - ④ 今まで、エコアクション21事務局を中心に成果を上げているが、更なる環境活動のレベルUPを図ることが出来る様、担当事務局をスタッフ部門中心とする等、よりチェック機能を持たせた管理体制に見直すこと。

《11》環境活動報告(2015年度)

◎環境配慮設計商品の開発発売

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を汚さず肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。太陽油脂石けん・化粧品開発部では、環境にやさしい石けん製品を毎年開発しております。昨年、厳選した食品由来原料を使用したオーガニックだけではなく使用感にもこだわりを持ったスキんケアシリーズ『素肌レシピ』を発売し、本年度はこのシリーズの新アイテムを期間限定品として、『素肌レシピハンドクリームアソート』を発売しました。その他の新アイテムとしては、サンリオとコラボレーションした『ハローキティハンドクリーム(3種)』『ハローキティリップクリーム(2種)』『サンリオハンドクリームセット(2種)』を発売しました。本年度に開発した商品は、全て下記の『環境配慮設計の基準』を満たし、『エコサート認証』を製造工場と一部製品で更新して取得を続けております。

環境配慮設計の基準

- ① PRTR指定物質、医薬部外品の表示指定成分の有害性の指摘のある合成化学物質は使用せず、石けんなどの生分解性の良い原料を使用する。
- ② 商品は常圧以下かつ約100℃以下の温度で製造する。
- ③ 段ボールなどリサイクルできる素材を採用し、廃棄時に有害物質を排出するプラスチック素材は使用しない。
- ④ 詰替可能なものは「詰替用商品」を積極的に作る。

環境配慮商品 2015年度新製品

● 素肌レシピシリーズ

ハンドクリームセット



素肌レシピ ハンドクリームアソート

● サンリオ・コラボシリーズ新製品

ローズ シトラス ピーチ



ハローキティ ハンドクリーム

● サンリオ・コラボシリーズ新製品

ミント ピーチ



ハローキティ リップクリーム

● サンリオ・コラボシリーズ新製品



サンリオハンドクリーム セット

◎地域への貢献

太陽油脂は会社創立(1947年)当時より、「パックス」シリーズとして粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。

そして近年、「パックスナチュロン」、「パックスオリー」、「パックスベビー」、「お肌しあわせ」シリーズの石けんシャンプーなどの液体石けん類、クリーム類も製造販売してまいりました。

この間、消費者や生協などの団体に、石けんについてより詳しく知っていただきたいため、石けんの使い方・環境に対する良さについて講習会などを通して広くお伝えしてまいりました。

また、昨年度よりホームページ上で毎月2回一般の方の参加の募集も開始し、より多くの方に石けんの良さについて知っていただけるような取組みを開始しました。

2015年度は、地域住民・学校・環境団体・NPO団体・生協等を対象に石けん講座、手づくり石けん教室、工場見学会を合計112回実施しました。また、NPO法人や学校などへ協賛品として石けん製品を17回送りました。

石けん講座、工場見学会

〈内容〉

- ① 植物油(オリーブ油、パーム油など)を使用し、香りや色を付ける5分でできるペットボトル石けん作り(小さい子供向けには石けんチップを使った、手ごねの石けん作りを体験)
- ② 合成界面活性剤などの合成化学物質、PRTR法での第1種指定化学物質を使わないシンプルライフ、石けん生活の提案
- ③ 実験による石けんの性質の確認(汚れ落ち、環境への影響、使用のコツ)
- ④ 製品を身近に感じることができる石けん工場の見学

〈対象(参加団体)〉

- ・生協(パルシステム生活協同組合連合会、よつば生協、ナチュラルコープヨコハマ、なのはな生協、グリーンコープ連合など)
- ・行政・学校(子安小学校、西寺尾第二小学校、神奈川学園など)
- ・共同購入・店舗(太陽サービス、大地を守る会など)
- ・環境団体(石けんネットワーク、環境未来都市・環境絵日記展2015など)

参加人数
合計3,539人
(平均31.6人/回)

〈石けん教室の様子〉

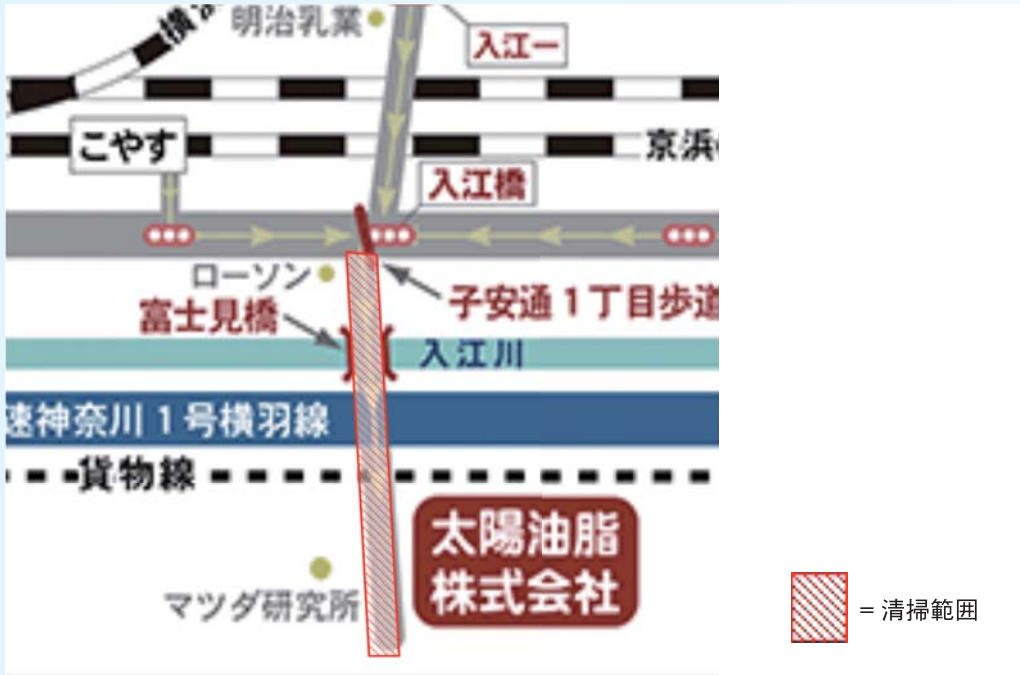


地域の小学校の総合学習の一環として、昨年に引き続き「石けん教室」を開催しました。身近にある石けんを自分たちの手で実際に作ることにより、楽しみながら環境についての学習が出来たと思います。これらの取り組み内容については、「泡エコ通信(ナチュロン通信)」にして希望者に年3回、3万部配布しています。

◎地域貢献活動

●地域清掃

地域貢献活動として、太陽油脂正門前から国道までの道路周辺を毎週清掃しております。
2015年度には48回の清掃を実施しました。



◀清掃活動の風景

●町内会への協力

8月に町内会へイベントの協賛品として石けんを2ケース寄付しました。
町内会イベント（主にお祭りの準備・運営・後片付け）に参加し、地域への協力を行いました。



太陽油脂株式会社